

記入例：経過観察調査票

服薬（内服あるいは座薬など）を時間軸の左側に、体温および症状を右側にご記入ください。
長く続いた症状については、続いた時間（ — ）がわかるように記入してください。

◇ 薬の使用

（内服あるいは座薬など）

☐ 薬の使用なし

◇ 体温

（測ったものすべて）

☐ 体温の測定なし

◇ 症状

（けいれん、意識障害、異常言動・異常行動、激しく持続する咳、などの重い症状がみられた場合に、ご記入ください。また、異常言動あるいは異常行動の内容を、別紙の「異常言動・異常言動調査票」に記入してください。

多少の咳、嘔吐、頭痛、喉の痛みなどの普通に見られる症状については、記入いただくなくて結構です。）

☐ 重い症状なし

（時）

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

〇〇医院

受診（9:15）

アセトアミノフェン

の座薬（9:20）

タミフル服用

（11:00）

タミフル服用

（20:00）

← 38.5℃（1:45）

← 激しい咳（2:00）

← 40.2℃（5:30）

← 高熱のためと思われるけいれんが

6分間起きる（9:58）

← 41.0℃（10:55）

← 近くに誰もいないのに友達の名前をよんだり、祖母の顔がわからない様子だった（12:00 - 13:05）

← 40.5℃（12:30）

← 38.8℃（17:00）

← 38.2℃（20:45）

← 少しずつ元気が戻ってきた

お気づきの点がありましたら、空いている場所にご記入ください。

アセトアミノフェンの座薬を使用したけど、すぐには解熱せず、けいれんが起きた

など